

# 北海道新幹線が つなぐ 東北・北海道の未来

## 交流人口・ビジネス拡大で 地域の活性化を

いよいよ、北海道新幹線新青森－新函館により東北と北海道との距離感が拡大が期待されます。

今後は、いかに地域に人を呼び込む地域のビジネス交流を促進していくかなってきまします。

そこで今月号では、仙台・札幌両商工線開業に伴う効果や課題、両地域の連携

館北斗間が、3月26日に開業します。縮まり、これまで以上に、両地域の交流

か、地域間で観光客を送客し合うか、両ど、広域的な視点での取り組みが重要に

会議所のトップ対談を通し、北海道新幹線の重要性について探りました。

仙台商工会議所 会頭

東北六県商工会議所連合会 会長  
㈱七十七銀行 会長

かま た ひろし  
**鎌田 宏 氏**

札幌商工会議所 会頭

北海道商工会議所連合会 会長  
㈱北洋銀行 相談役

たか むき いわお  
**高向 巖 氏**

### 距離感が縮まり 広がる可能性

**志賀** まず高向会頭にお伺いいたします。3月26日の北海道新幹線開業を目前にして、いまの心境をお聞かせください。

**高向** 新幹線開業に関しては、以前より仙台商工会議所さんからたくさんアドバイスを頂戴しております。これについて、まず、お礼を申し上げます。ありがとうございます。

開業を目前にしたいまま、長い間の夢であった新幹線がやっと実現するという喜び、また北海道にも新幹線時代が来たのだという感慨、それを生かしていかなければならないという強い使命を感じています。

今回は新青森から新函館北斗までの開業ということで、北海道の入り口までですが、それでも東北や北関東から、大勢の方が北

海道へ観光に来てくださるに違いないと大変期待しているところです。また、これによって東北と北海道の経済関係が非常に近くなり、いろいろな交流が可能になるものと思います。東北のものが北海道で売られようになったり、北海道の企業が東北で仕事ができるようになったりということ、一体感が出てくるのではないのでしょうか。例えば、函館から札幌までは3時間半ですが、仙台までは2時間半でつながるようになります。そうすると、函館の優秀な高校生が、北海道大学に入らずに東北大学に行ってしまうかもしれません。そのことを考えると、「函館が東北に取られてしまう。これは負けていけない」と思うわけです(笑)。そうは申しませんが、心の中では、それはそれで良いのではないかと

思っているのです。函館が東北経済圏の中に入ったとしても、北海道とのつながりを果たしてくれると期待しています。優秀な人材が東北大学に入っても、故郷の北海道・函館とはつながっている。このように、東北とは親しい関係を築いていきたいと思っています。

**志賀** では鎌田会頭は、東北側から今回の北海道新幹線開業をどのようにご覧になっておられますか。

**鎌田** 東北各県の県庁所在地と北海道とが新幹線でつながることになるわけ

光の両面、人とモノの交流が活性化するだろうと大いに期待しております。

**高向** 青函連絡船が運航していた時代は青森－函館間が4時間、それが青函トンネルの完成によって在来線で2時間になり、新幹線の開業によって1時間でつながるようになるのですから、本当に近くなります。先ほども申し上げたように、北海道の企業が「この仕事は東北でやろう」とか、東北の企業が「この事業は北海道でやろう」というように、分業体制ができるかもしれません。マーケットも、北海道と東北を一体化して考えるようになるでしょうから、企業の事業展開に広がりが出てくるでしょう。



コーディネーター  
㈱東北地域環境研究室  
代表  
**志賀 秀一 氏**

北海道留辺蘂町(現・北見市)出身。中央大学経済学部卒業後、北海道東北開発公庫(現・日本政策投資銀行)入庫。その後、観光施設「山寺風雅の国」常務取締役を経て平成13年から現職。主な公職として大分県竹田市仙台事務所長など。平成20年の仙台・宮城デスティネーションキャンペーン(DC)開催時には、当所「仙台・宮城DCプロモーション委員会」委員長を務める。

当然、規模の利益が出ますので、お互いにメリットは大きくなると思います。東北はものづくりの面で北海道よりも先を行って、東北で加工するといったことも増えるかもしれません。

**志賀** 交通面でハードや乗り物が整備されると人とモノの往来に弾みがつきます。お互いがお互いを活用し合い、WIN-WINの関係構築しようという意志をもつことで、ビジネスを中心にプラス面が出てくるのではないのでしょうか。

### 歴史的な縁を再確認し お互いをもっと知り合う

**志賀** 人の往来と言えば、最近では、楽

天イギリス・マイチーム協議会(仙台商工会議所事務局)と北海道日本ハムフアイターズを応援する会との交流が続けられています。

**高向** そうですね。鎌田会頭はマイチーム協議会の会長の立場で、毎年、札幌に来てくださいますし、おかげさまで行き来する機会が増えました。

**志賀** こうしたことも、親近感と言いますか、距離感が縮まるきっかけになっているのでしょね。

**鎌田** 日本ハムと楽天イギリスが戦うときは、たとえ楽天が負けても我々はそれを許してしまっんですね。

**高向** 逆も真なりです(笑)。こちらも、どうせ負けるなら楽天がいい。

**鎌田** 日本ハムに負けても、私たちは決して悔しがらないんです。それよりも、

日本ハムには「がんばって」とエールを送っています。

もともと、北海道と東北は歴史的なつながりがあるから、そんな心境になるのだろうかと思っているんですよ。

**志賀** 北海道と東北とは、歴史的に深い関わりがありますね。

**鎌田** 江戸末期、仙台藩をはじめ東北の諸藩が蝦夷地の守りについていました。また、明治以降は東北から多くの武士が北海道に移民として渡り、開拓にあたって今日の北海道発展の基礎を築きました。言ってみれば親戚同士というわけです。

七十七銀行の初代頭取である氏家厚時(むねあき)という人は、幕末に蝦夷地の防備を固めるために白老に設置された、元陣屋の初代蝦夷地警備御備頭(しんえいごおんべいごう)だったんですよ。

**高向** そうなんですか！これからは、東北と北海道のつながりを示す歴史が観光資源になりそうですね。

**志賀** 宮城県大崎市岩出山の「あ・ら伊達な道の駅」には(北海道の有名チョコレートブランドである)ロイズの店舗が入っています。道の駅の主力商品になっていきます。ロイズが、なぜこの道の駅

に常設店舗を設けたかと言うと、ロイズの工場がある北海道当別町と合併前の旧岩出山町は、歴史的に深いつながりがあり、姉妹都市を結んでいたことで実現したことなのです。こうした、歴史を通じた両地域のコラボレーションというのは今後も期待できるのではないのでしょうか。

**高向** そう思います。北海道には宮城県にご縁がある人たちが大勢いますからね。三代目、四代目になっても、自分の父祖の地との縁は非常に大切にしています。ですから、北海道には伊達市があり、札幌市に白石区がある。まさに親戚、兄弟のようなものなんです。

**志賀** そうですね。しかし、私は留辺蘂(現・北見市)の生まれで高校まで過ごしたのですが、考えてみると、小さいころに東北のことをあまり聞かされたことがありませんでした。北海道と東北とは隣なのになんかという感じがします。

**高向** 北海道では、先祖はどこから来たのか、親から言われていないという人が結構多いんです。でも、自分のルーツはどこなんだろうという気持ちはみんな持っていますよ。

**志賀** 一方で、北海道と東北は、細かく見ていくと異質なものとたくさん持っています。その点ではお互いに良き競争相手でもあるのですが、一緒に取り組むと良いものができる可能性を無限に、

### 互いにPRしあうことが ビジネスチャンスの拡大に

ために大変骨を折ってくださいました。この歴史をもう一度掘り起こして、北海道民として勉強しなければならぬと思います。当時、開拓はさぞ辛かったでしょう。鉄道を引いて、切り出した木材や掘り出した石炭を運び出したり、麦やトウモロコシなどを苦労して育てたり、すべて東北の方がやってくださったわけですね。

**鎌田** これまでは、東北も北海道も、どちらかというと東京など他の地域に目が向いていたと思いますので、これからは一体であるという考え方で進むべきではないでしょうか。

そんな北海道には、外国から多くの旅行者が訪れていますね。

2014年で見ますと、宿泊ベースでは北海道全体で約390万人、東北の40万人の10倍もいらつしやるわけですから、北海道を訪れる外国人観光客の方々に、東北にも来ていただけるような仕掛けを考えなければならぬと思っています。

秘めているのではないかと思っと思っています。その辺りはどのように考えようか。

**高向** その通りですね。みんなでアイデアを出し、「これぞ」と思うものを一緒にやってみることが大切だと思います。

例えばの話ですが、青森のこけし職人さんと北海道の木彫りの熊をつくる職人さん同士で技術交流したら、何か新しいことができるかもしれません。

また、先ほど鎌田会頭がお話されたように、東北の方は、北海道に来て開拓の

**高向** 東北の方々、特に仙台の方々にお願いしたいことがあります。それは東北の見どころやおいしいものを、私たちに積極的に紹介していただきたいということです。北海道には、新幹線に乗って東北に行ってみたいという人は大勢いるのです。しかし、一体どこに行けばいいのか、いま一つはつきりしないというのが現状だと思います。ぜひ、東北の情報をたくさん持って、私たちに誘いに来てください。

**志賀** 東北から北海道への情報発信を強化するということですね。実は、JR仙台駅の2階に仙台観光国際協会が運営している観光案内所がありまして、年間40万人の方が利用していますが、そのうち2割は平泉に関する質問なのです。もう2割は松島や山寺に関するもので、そのほか秋田の竿燈まつりを見に行きたいなど、さまざまなお問い合わせがある中で、仙台に関する質問は半分もないのです。私は「仙台駅は各地に人を送り出す役目を果たすところなのだ」と思っているくらいです。

**高向** ほう、そうなんですか。おもしろいですね。

**志賀** 従って、北海道新幹線が開業したら、今度は仙台駅に降り立った外国人を



はじめとするさまざまな方々が、札幌や函館のことを尋ねてくるのではないかと予想しています。そのときに、まるで函館在住の人のように函館のことを説明できる仙台の案内所というものが必要になると考えています。

**高向** なるほど。では、今度は私たちが、北海道にいらつしやる日本人観光客のみならず、外国の方々にも「もう少し南に行くと、また違った良さが味わえますよ」と、東北についての情報を提供する役割を担うことになるわけですね。

**鎌田** その連携が必要になってくると思います。いままでは、このような発想はありませんでしたが、これからは函館に飛行機で来た旅行者が、新幹線で仙台に来て観光を楽しみ、仙台空港から帰るといふ、そういった旅のスタイルも当たり前になるかも知れません。

**高向** 外国人向けの「ジャパニールパス」というチケットがあるのですが、これは外国人観光客が、JR各社の鉄道や路線バスの乗り降りが自由になるというものだそうですから、それを使って東京から東北まで来て観光、宿泊して、その後北海道に来るといったケースも十分に考えられますね。

**志賀** そうですね。それから函館の外国人延べ宿泊者数は35万人を超えています。台湾の方が多いいです。台湾といえば後藤新平。彼は台湾総督府民政長官であり、南満州鉄道の初代総裁を

東北にはさまざまな文化や歴史がありますから、たくさんの人をひきつけ、呼び込めると思います。ぜひ、その魅力を発信してください。

## 違いがあるからこそ 新しい何かが生まれる

**志賀** 私は金融や観光の分野で仕事をしてきましたが、北海道には東北にないものがあり、また東北には北海道にないものがあります。仙台に着任し初めて七夕まつりを見たとき、竹に飾りつけをしていることに驚きました。北海道には竹がないからです。また北海道には杉もありません。ですから本州で、杉花粉で大変な目に遭っている方が、花粉の時期には北海道に行くというケースが増えています。札幌医科大学付属病院の先生が実施している、アレルギー性鼻炎の人を対象とした北海道ツアーの参加者の中には、ツアーが終わっても故郷に戻らずに、千歳周辺に家を買った人がいらしたそうです。このように、違いがあるということは良いことで、そういう地域が一緒になることで新たな何かが生まれることがあります。

**高向** おもしろいですね。考えてみると、東北と北海道には、まだまだいろいろなタネがあります。

**鎌田** これからは、考え方を新しくし



て、オール東北・オール北海道で両地域を一体とした取り組みを進めていくことが求められますね。

**高向** 北海道から東北を見ると、私たちは非常に親しみを感じています。それは以前、新幹線を札幌まで延伸させようというキャンペーンでキャラバン隊を編成して、東北各県を訪問したときのこと。各県の知事さん、市長さん、商工会議所の会頭さんにお会いしたのですが、皆さん「応援するよ」と言ってくれました。まち行く人まで「まだ北海道に新幹線通っていないの？がんばってよ」と声をかけてくれました。皆さん、とても親切にしてくれたことに大変恩義を感じています。

**志賀** 新幹線開業を契機に、お互いの魅力を掘り起こすとか、良いもの同士結んだり、弱いところを補いあったりして関係を強固にしていくことが必要ですね。**高向** お互いの行き来が盛んになれば、いろいろな良いことも増えていくのではないのでしょうか。

## 東北・北海道がお互いを より強く意識し合う

**志賀** 仙台にはデパートがいくつもあります。仙台には「北海道展」は催事の中でもとても人気が高いそうです。そこで、高向会頭に伺いますが、札幌でも「東北

展」や「仙台展」といった催事は開かれたりするのでしょうか。

**高向** 時々はあるようですが、そんなに大きな規模ではありません。でも、これからは工夫をすることで、いろいろなことができるのではないかと思います。文化の面でも、もっと交流できることがあると思いますので、修学旅行をはじめ教育関係の方が行き来するのは効果的ではないでしょうか。

**鎌田** やはり、お互いの歴史をもう一度、勉強する必要がありますね。**高向** そうですね。特に子どもたちにはぜひ、お互いの歴史を勉強してもらった方が良いでしょう。

**志賀** それでは最後に、北海道新幹線の開業を契機に、さらにお互いの地域をレベルアップするための意気込みをお聞かせいただけますか。

**高向** 東北と北海道の距離が近くなつたわけですから、協力できる分野が非常に広がると思います。

新幹線は遠距離の移動にも、都市間の行き来にも大変便利な乗り物なので、すから、これを使って両地域の関係を密にするための交流を増やしたいと思っていますので、鎌田会頭、どうぞ、よろしくお願いします。

**鎌田** そうですね、よろしく申し上げます。これまでは、例えば北海道で水揚げされる海産物は、東京市場へ運ばれるということ、東北は通過点のようにな

務めました。しかも、水沢（岩手県奥州市）の出身です。台湾と東北はこのような縁があるのですから、当地から観光客を呼び込むときには、このような共通点にうまくスポットを当てて、北海道と東北と一緒に活動することが有効ではないでしょうか。

**高向** ぜひ、そうしたいですね。そういったストーリーがあれば、観光客を魅了できるはずですね。新たなビジネスチャンスが出てきたということですね。

**鎌田** そうですね。例えば我々がヨーロッパに行ったときのことを考えてみても、一カ所に留まらずに必ず周遊しますからね。

**志賀** 私たちがそうであるように、外国から来られる方には、日本の市や県の境はまったく関係ありません。遠くからたくさんの方々に来てもらう場合には、こちらも広い範囲を見すえたマーケティングとか旅行商品の開発をしていかなければならないということだと思います。

**高向** その通りですね。北海道新幹線の試乗会にはたくさんの方々の応募があり、非常に高い倍率になりました。しかも北海道在住の方が多く申し込んでいます。このことから、道内での関心も非常に高いことがわかります。また、応募者の中には、新幹線に乗って東北に観光に行く可能性のある人は大勢いますから、その方々を含め、私たちを早く呼びに来てください。仙台をはじめ、

ついていましたが、これからはお互いに新たな商圏ができたという意識を持っていきたいと思っています。私たちが築地ばかり見えていないで、北海道を見るようになります。

**高向** 一番良いものを築地に持って行くのではなく、東北は北海道へ、北海道は東北へ持って行けば良いということですね。

**志賀** 新幹線はより遠くに、より速く私たちを運んでくれるだけでなく、都市と都市とをつなぐ重要な役割も担っているということが言えると思います。

**高向** ますます北海道新幹線の開業が楽しみになってきました。

**鎌田** そうですね。旅行商品を開発するにしても、これまでは東北の中だけでしかプランを組むことができませんでした。しかし、これからは東北の魅力に北海道の魅力もセットして商品開発ができるのですから、日本全国からでも、外国からでも人を引きつけることができるでしょう。そういった意味でも、東北でも一度、北海道とのつながりを見直す必要があると思います。

**志賀** 北海道新幹線を有効活用するために、地域の方々の知恵が大切だと思います。

本日は、ありがとうございました。

※本記事は、札幌商工会議所広報誌「つぼろ経済」3月号にも掲載されます。